

プールってだーいすき 水の中で大はしゃぎ (倉俣小)



私たちの村の
()内は前月比
■人口 7,092 (-11)
男 3,519 (-7)
女 3,573 (-4)
■世帯数 1,648 (+1)

生徒募集

県立魚沼高等職業訓練校
(北魚沼郡堀之内町)では
昭和五十九年度の生徒を募
集しています。

★募集訓練科

電気施設科 二十名
測量科 二十名

★応募資格

高等学校卒業以上(昭和五十九年三月卒業予定者含む)

★年齢

おおむね三十歳以下の者

★願書受付

九月一日～九月三十日

★選考日

十月十一日(日)

詳しくは、高等職業訓練校(☎三五五〇二四一〇)

新潟県職員採用中級・初級試験、新潟県市町村立小・中・高職業訓練校事務職員採用試験のお知らせ
★受付期間 八月二十六日

(金)九月十六日(金)
★第一次試験 十月十六日(日)

受験資格等、詳しいことは、新潟県人事委員会(☎三五五二二二五五一一)

新潟県警察官募集

★受験資格

昭和三十一年四月二日～昭和四十一年四月一日までに生まれた男子で、高等学校卒業程度の学力を有する者

★受付期間

七月十四日(休)～九月十日(休)まで

★試験日

九月二十五日(日)

★試験地 長岡市、上越市、新発田市、新潟市

詳しくは、十日町警察署 田沢駐在所(☎三六八)まで

新潟県少年の主張大会 第四回新潟県中魚沼地区大会 郡市内中学校(十二校)

の代表一名が主張します。

★日時

八月二十日(日)十三時半～

★場所

田沢中学校

ぜひ、お誘い合せの上、聞いてください。

交通安全家族会

作文募集

みなさんのご家庭で、交通安全について話し合った内容や方法を作文にして、応募してください。

★応募期間 七月一日～九月二十日

詳しくは、役場総務課まで。

新潟県芸術祭文芸部 作品募集

★種目

- 小説(一般・高校)
- 詩(一般・高校)
- 短歌(一般・高校)



○俳句(一般・高校)
○川柳(一般・高校)
★資格 県内在住者に限る
詳しくは、県教育庁文化行政課(☎三五二二二二五五一一)(内三六七五までお問い合わせください)

防火警備表示制度の適用
防火対象物の並大のお知らせ
一、劇場、映画館、演芸場
または、観覧場で階数が三以上かつ収容人員三十人以上のもの、または、延べ面積三百平方メートル以上のもの
二、公会堂または集會場で階数が三以上かつ収容人員三十人以上のもの
三、百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗または、展示場で延べ面積千平方メートル以上のもの、または、三階以上の階の収容人員の合計が三十人以上のもの。

原爆死没者の慰霊および平和記念の黙とう

広島市および長崎市では原爆被爆三十八周年を迎え、原爆死没者の慰霊式ならびに平和祈念式が行われます。

黙とう
広島県 八月六日 午前八時十五分

長崎県 八月九日 午前十時十五分

お母さんおばあちゃん おみのがしなく!



■レントゲン検診(時間帯は通知書をご覧ください)

8月31日/原町、新里、倉俣、芋川

9月2日/白羽毛、程島、高道山、朴木沢、朴木沢新田、通り山、桔梗原、芋川新田

■妊婦検診

8月19日/上村病院/13:30~14:00

■母親学級

8月19日/保健センター/8:30~9:00

■胃腸団検診

9月5日~9月10日 後日案内文送付
9月12日

一時二分
それぞれ死没された方々のめい福と世界恒久平和の確立を祈念して黙とうをさげます。

善意をありがとう
社会福祉協議会へ次の善意が寄せられました。
○宮中 高橋義夫さんから香代返しとして五万円
○荒屋 大村建設備から、創立二十周年記念として二十万円
ありがとうございました。

◆編集後記◆

■夏休みも、もう半ばです。今回は子ども夏休み特集として中里村の伝説のいくつかを紹介しました。これを機会に、子どもさんに村の伝説を話してあげてください。
■最近、川の汚れが問題となっています。冬場の川への雪捨てと同じで、自分さえよければという考え方を強く感じます。相手の立場に立った考え方を身につけよう。心掛けたいものです。

わたしは夏休みをこう過ごしたい



貝野(小) 6年
南雲ゆうこさん

夏休みは、水泳練習が大会まで毎日のようにある。だからあまり遊ぶ暇がない。だから大会が終わった後の日や水泳練習のない日は、めいっぱい楽しく過ごしたい。お盆は、いとこの人などがくるから楽しく遊んでこうかいたないようにしたい。

楽しみなつり



倉俣(小) 5年
高橋 隼人さん

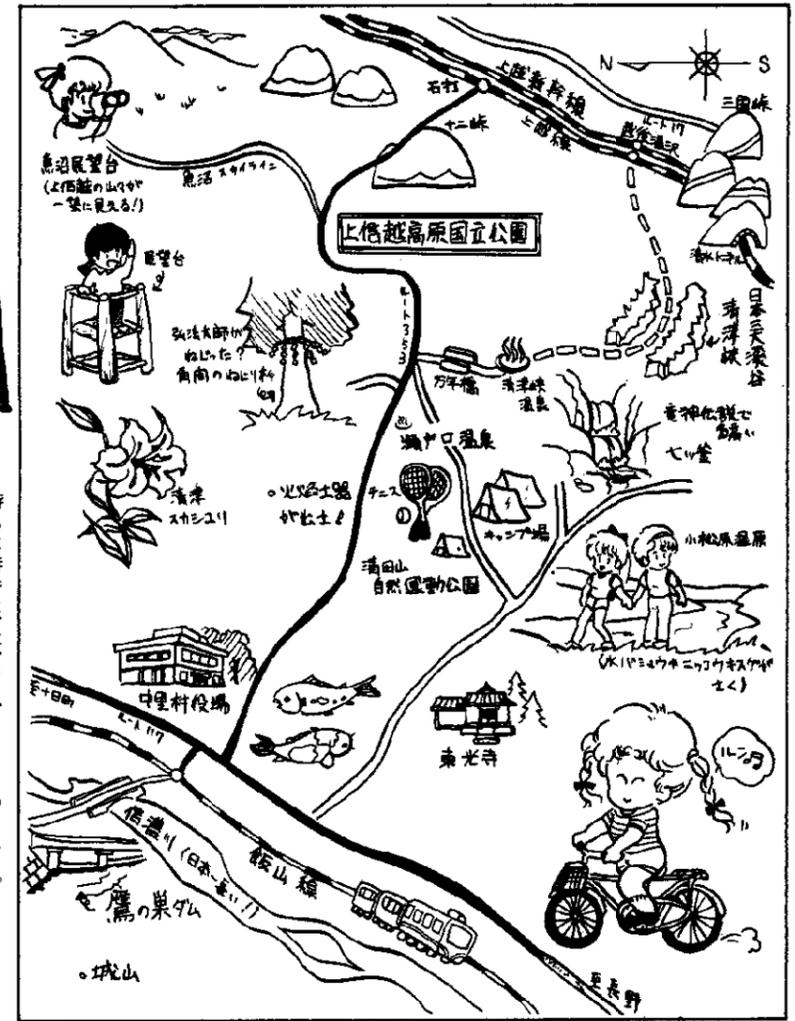
ぼくは、去年つりを始めたばかりで、まだ、うまくないので、おとうさんから教えてもらってうまくなりたいし、何回もつりに行きたいと思います。それから水泳があまりとくいでないので今年、水泳に多くきて、もっと練習をしてうまくなりたいと思います。

心に



- ★にかっこ滝 新屋敷
 - ★船石 市之越
 - ★桔梗原の狐 桔梗原
 - ★白羽毛観音 白羽毛
 - ★鴻池の因縁話 貝野
 - ★かっぱのくれた薬 小原
 - ★ねじり杉 角間
 - ★瀬戸の湯 西田尻
 - ★腹切り田 桂
- これらの伝説の地を尋ねる前に、おじいちゃんやお

残る夏休みを



待ちに待った夏休みも、もう半分過ぎてしまった。みんな有意義な夏休みを過ごしているかなあ。夏休みが終わった後「楽しかった」「思い出いっぱい」といえるような夏休みにしよう。毎日、時間を決めて勉強する他に、昆虫採取や植物採取、家の手伝いもやろう。けどせっかくなので夏休みだから親子で出掛けるチャンス

たくさん伝説の中里村にはたくさん伝説があります。こうした伝説の地を親子や友達と歩くのはどうだろうか。中里村にまつわる伝説として次のようなものがあります。
★七ツ釜 荒田
★殿様塚 屋代

ねじり杉

角間

夏の暑い日のこと、旅の坊さんが角間を通りかかり道端の家に立ち寄って「水を一杯ください」と頼みました。しかし、その家ではハタ織の手も休めずに「水はないよ」と相手にしてくれません。隣の家でも同じこと。坊さんは「私は飯も水もいらませんが、この人たちは仏様のありがたさを知らないかわいそうなんだ」とたいそう悲しませ、せめて私がここを通ったしに、かたわらの杉の木をねじり「このまま伸びよ」といって立ち去りました。村人は、この木が大きくなってねじれることから仏様の偉大な力を知ったと伝えられています。

桔梗原の狐

桔梗原

昔、桔梗原へお化けがでるといわれていました。ある日、干満の「太郎べえ」というはら吹きが村人に頼まれてお化け退治にでかけました。太郎べえが恐いのをがまんしながら歩いて行くと、向こうからきれいな女の子が現われ、ニヤッと笑ってスーッと消えてしまいました。驚いた太郎べえはそのまま気絶してしまいました。そこへりっばなサムライが通りかかりみごとにお化けを退治してくれました。お化けの正体は大きな狐でした。村人は、この狐を桔梗原の守り神として社を建て、お祭りをするようになったということです。

ばあちゃんに昔話を聞いてみよう。この他にも、村内にたくさんある道祖神や善光寺街道を歩いてみるのも良いと思う。「村内なんていや」などといわないで、中里村の良さを歩いて知ろう。

勉強も忘れずに伝説の地を尋ねたり、海や山に行つて大いにはね回るのもよいけど、毎日、時間を決めて勉強する習慣を身につけよう。夏休みの終りになって、お父さんやお母さんを頼ってはいけませんが、自分のことは自分でやろう。一生けんめい遊んで、一生けんめい勉強して二学期の始業式には、元気で学校へ行こう。

心に残る夏休みを



通り山 樋口のりさん

長男が六年生の時、夏休みを利用して天理教のお世話による「おちば帰り」という五泊六日の旅に参加させました。親元を離れ友達一人との旅は、親子共々多少の不安がありました。元気で楽しい旅を見送りました。旅先では、天理のお山と

その近郊、そしてポートピアの見学もしてきました。食事はセルフサービス、布団の片付けや掃除は班で責任をもつ団体生活だったの事。旅先では、おせいの友達、そして、大人との触れ合いに喜びを感じたようでも、とても良い体験だったと思います。長い、楽しい夏休み、何か一つ心に残るものを見つけたために、いろいろなことにアタックして、有意義な夏休みであってほしいと願っています。

自然にふれる機会を



荒屋 山田正人さん

現代の子どもの夏休みの過ごし方は、私たちのころとずいぶん違ってきていると感じます。私たちのころも宿題はありましたが、毎日のように川に行き、水泳や魚とりをして自然の中で遊びました。その点、今の子どもたちはかわいそうだと思います。これも時代

の流れかも知れませんが、もう少し自然の中で遊ばせてやりませんか。テレビやプラモデルと違い本当に喜びます。自然には、偉大さ、不思議さ、怖さがあります。自然の中で遊ぶことにより子どもたちが自然に親しみその中から何かを学び自分なものになります。その点で夏休みは特に良い機会だと思います。大いに自然の中で遊べる機会を与えて見たいかがでしょうか。

腹切り田

桂

桂の鎮守様の境内には、石橋供養塔とぼった石碑があります。その昔、この付近が大凶作に見舞われたときのこと、村人は庄屋から借りたお金が返せなく厳しい取り立てに困り果てていました。そんなある日、樋口兵左衛門というものが庄屋の家に忍び込み、寝ている主人の胸を脇差で1刺して逃げ帰り田んぼで集落の幸福を願って腹を切って死にました。しかし、兵左衛門の刺したのは主人の身替りの人形でした。この事件を知った庄屋は、自分の行いを反省し、鎮守様に石段と供養塔を寄贈したと伝えられています。

梵天様の船石

市之越

市之越には、梵天様の船石といわれる大きな石があります。この船石は、梵天様が天から降りるとき乗ってきたといわれています。この名の由来は、石の真ん中に船の形をしたくぼみがあったことから名付けられたものです。不思議なことにこのくぼみにたまった水はどんな暑いひでりでもかれないことから、村人は船石のそばに堤をつくってその水を引いて稲を作ったと伝えられています。今でも市之越にお宮と船石が残っています。

大蛇の伝説

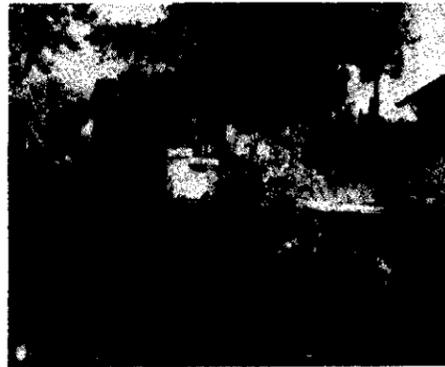
七ツ釜

その昔、七ツ釜には、大蛇が住んでいたといわれ魚をとる者がいませんでした。ある日、水沢村の太田新右衛門という豪傑が七ツ釜を訪れ「どうか一網だけ」とお願いをして網を投げ込みました。たくさんとれたのに気をよくした新右衛門はこんどお願いをしないで網を投げ込みました。すると中から大蛇が現われたので、鉄砲で片目を打ちました。怒った大蛇は逃げる新右衛門を追いかけ、新右衛門の家に7回り半も巻きつき、青白い炎をはきながら新右衛門を脅かし、ついに新右衛門は死んでしまったと伝えられています。

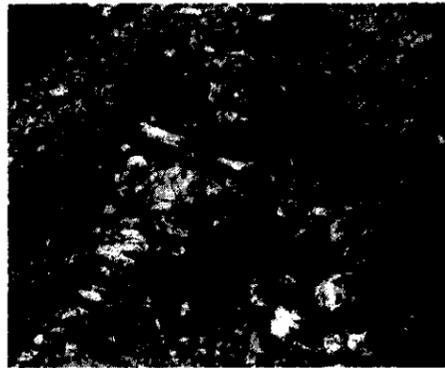
捨てるのは簡単 拾うのはたいへん

総合開発計画策定のための広聴会の席で、ほとんどの集落から河川の汚れをなんとかしたいという意見が聞かれました。下水道がない現在、家庭の雑排水はいたしかたないとしてもその他のごみは、みなさんのちよっとした心がけでなくすことができます。みんなが「川をきれいに」という一声をかけたいものです。

水は、その形を変化させながら地球上を移動して、瞬時も静止することがありません。水は自然界の中で海洋や河川の表面、動植物の表体から水蒸気となって空气中に発散され、それがやがて雨となって地上に降り注ぎます。降った雨は、河川



ごみを上げる人の気持を考えて (小原)

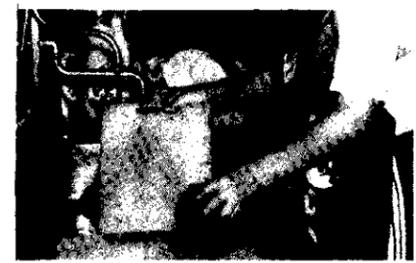


ごみのために川がめっちゃめっちゃになっている (小原)

を下り地下を動き動物や植物に摂取されます。このように水は循環している間にさまざまな働きをしています。自然界の中では、常に生物を通して生産と分解が行われ一定の平衡を保っています。しかし、現在のように、

家庭の雑排水や工場などの排水が大量に河川に流れまますと自然浄化のメカニズムが壊され河川の汚染をひきおこします。自分さえよければという心が河川の汚染に

とができ、そのアキ缶を目のつかない河川や草むらに捨てるケースが目立ちます。また、冬場のごみ収集ができない所では、袋ごと川に流す人たちがいて、下流の小原や干溝では、毎年ごみの処理に苦労しています。自分の所さえきれいなになればよいという考え方で捨てられたのは下流地域の人たちは、なまりません。みんなのちよっとした心がけで相当きれいになると



まな板はいつも清潔に

手や調理器具を清潔に

十日町保健所管内では、昭和五十六年と五十七年の二年間に三件の食中毒が発生しています。三件の内一件が業者によるもので二件が家庭で起きたものです。家庭で起きた一つは、海で釣ってきた魚をフライにして食べて起きたもの。もう一つは、

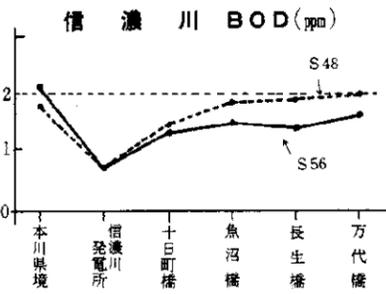
食中毒の原因となるものには、細菌性、自然毒、化学物質、その他(アレルギー)の四つに分けられます。細菌性の中には、感染型と毒素型があります。感染型としては、ネズミ、ゴキブリ等によって感染するサルモネラ菌、イカ、アジ、サシミなどによって感染する腸炎ビブリオがあります。毒素型としては、傷の化膿で発生するブドウ球菌によるものやボツリヌス菌など



冷蔵庫は1時預り所

美しい川をいつまでも

水は、人間の生命の源ともいえる貴重なものです。ヨーロッパでは、古くからし尿を川に捨てる習慣がありました。十九世紀になって、コレラ、チフス、などの大流行があったため



清津川 BOD (ppm)

48	49	50	51	52	53	54	55	56
0.9	0.6	0.5	0.5	0.7	0.9	0.9	0.8	0.5

下水処理や河川の汚染防止に力が入られてきました。しかし、日本は、昔からし尿を耕地の肥料として土地に還元してきたため欧米でおこなったような消化器系伝染病の大流行がなかった

各地で水汚染による公害患者が続出し、社会的問題となつています。生命の源といえる水を、きれいに保つことは、人間の健康にもつながっています。自分の都合だけで河川を汚すのはやめましょう。そして、河川にごみを捨てる人を見かけたら注意する勇氣をもちたいものです。

は、今年の五月から下水道処理場が稼働しています。また、津南町でも下水道整備を行う方針が打ち出されています。わが中里村も八月中旬に村内の七川など五ヶ所の水質調査を実施するとともに河川の汚染防止に力を入れて行く方針です。みんなの力で美しい河川をよみがえらせましょう。

下水処理へ 昭和五十七年度 全国の下水道普及率は三二%と低い現状です。こうしたことから建設省では、たち遅れている下水道整備を積極的に進めようという方針です。



無公害石ケンを使おう

漬物の洗える川に



荒屋 江口重信さん

最近、ごみ収集の徹底やみなさんのごみに対する意識の向上から川に流れてくるごみが減ってきているようです。しかし、依然として減らないのがドライバーによるアキ缶の投げ捨てです。捨てられたアキ缶が雨などによって川に流され、川を汚す原因になっています。昔のように川で漬物や大根が洗えるようにするために、みんなが川にごみを捨てないように心がけましょう。汚れた川を元に戻すことは、たいへん手間のかかることです。

裸足で入れる川に



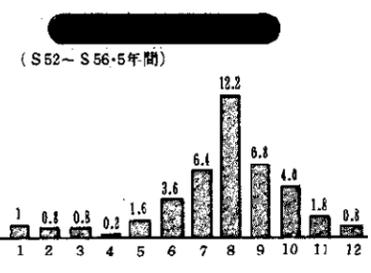
小原 樋口寿男さん

最近、本当に川が汚れてきましたね。昔は川で泳いだり、どじょうすくいをしたものです。しかし、現在は、水も汚れている上、ビンのカケラなどがあって裸足で川に入ることができません。春先、雪解け水でたくさんのごみが流れてきて、田んぼに入ります。田んぼ前にゴミを拾うのが毎年の仕事です。特に生ゴミは腐っていて本当にいやなものです。上流の人たちは、下流の人たちのことを考えごみを川に捨てるのはやめてください。

食品	最適温度	最長保存期	備考
牛乳	5℃	3~5日	瓶詰のまま
バター	5℃	2週間	カルトンのまま
鮮魚	1~2℃	20日	ゆるく包んで
りんご・なし	20℃	2週間	もとの容器のまま
新しい肉片	3℃	6日	ゆるく包んで
砂糖	20℃	3~6か月	もとの容器のまま
野菜(葉)	7℃	7日	洗わずに

こんなことに注意を 一、冷蔵庫に入れておけば安心という考えは誤っています。適温で保持をします。湿度の高い七月、九月に集中しています。七月、九月は細菌性の食中毒、十月はキノコによる自然毒中毒が大半を占めています。

八月に集中 食中毒の発生は、気温、湿度の高い七月、九月に集中しています。七月、九月は細菌性の食中毒、十月はキノコによる自然毒中毒が大半を占めています。



牛乳は三日、肉は六日しかもちません。冷蔵庫は一時預り所として使用しましょう。二、台所を清潔にして、ネズミやゴキブリの繁殖を防ぎましょう。また、調理器具は常に洗って清潔にしてください。(魚類と野菜などを切るまな板は別々なものにしましょう) 三、一度に大量に仕入れないで、必要な都度購入して新鮮な内に調理しましょう。四、買物をする場合は、衛生的な食料品店から買いたしましょう。五、規則正しい生活で、少しの菌には、負けない健康な身体づくりをしましょう。清潔、温度管理、迅速の三原則を守って食中毒を防ぎましょう。



上村村長
中魚沼郡町村
会長に就任

上村村長が、去る7月13日中魚沼郡町村会長ならびに県町村会理事に就任しました。今後、郡内、県と深い関係をもち郡内の発展のために努力します。

中里村農業委員会
会長に江口行男氏

中里村農業委員会会長高橋熊蔵さんの死去に伴い、新しい会長に干満の江口行男さん(農業委員)が就任いたしました。

江口さんは、農協理事の推薦による農業委員として活躍してこられました。

効率のあがる ほ場へ

たかば地区



一区画45aのほ場に

鷹羽集落では、ほとんどの家に後継者が戻ってきませんでした。後継者が農業を受け継いで安定した収益をあげるためには、未墾地の開発やほ場整備(畑)の必要があるとして、全戸で集落農業構造改善事業に取り組んでいます。

農地が完成する予定です。現在ある約十四haの畑には、主にタバコ四・三ha、スズラン一・三ha、飼料用作物一・八ha、アスパラ〇・八ha、加工トマト〇・六ha、ユリ〇・五haが栽培されています。今後は、この地の気象条件にあった、タバコ、スズラン、アスパラガスに加え、ダイコン、キャベツも栽培していく計画です。集落農構の事業の中では集出荷場も計画されています。鷹羽集落では、更に現在作付を行っている丘陵地のほ場整備もやっています。いよいよ集落内で話し合いが進められています。

七月二十九日、都市内の各小学校の代表者七十二名による「一日交通課員」が実施されました。これは、子どもたちに、都市内の道路交通状況や警察の仕事などを知っていただき、交通安全に対する認識を深めてもらおうと行われたものです。十日町警察署長から一日交通課員の辞令を受けた子どもたちは、黄色の帽子を

運転手さん気をつけて

一日交通課員

かぶり、腕に腕章をまいて熱心に交通安全の学習を行った後、二台の大型バスに分乗して、十日町市、川西町、津南町の路上で、実際に車の運転手さんに「一日交通課員ですが、安全運転をお願いします」と、やさしい声で呼びかけ、パンフレットを渡しました。また交通センターでは、警察が



シートベルト着用者が少ないなあー



早さ、正確さに挑戦



夢と希望の大きい新成人

晴れて大人の仲間入り

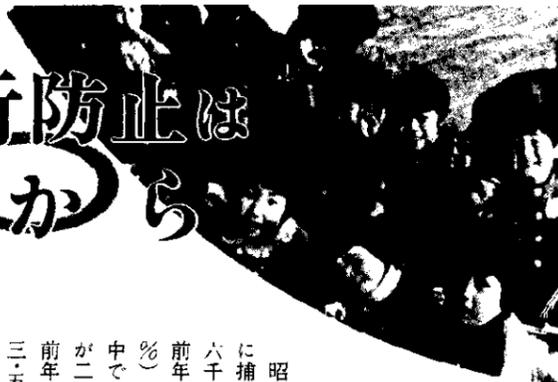
去る七月十六日、総合センターで成人式が行われ、対象者百十三人のうち四十六名が参加しました。式典の中で上村村長は、「これからは、自分の行動に責任をもたなければならぬ。みなさんの若い力を

郷土発展のために役立ててほしい」と、新成人を激励しました。これを受けて新成人の代表、桂の服部勝志さんが、二十歳としての抱負を述べました。記念講演には、三田虎治氏(津南高校長)が講師として招かれ、「一人前とは」と題して講演され、「人生の節目、節目で一人前とは何かということ、自分を自身に問い直してほしい」と若い成人の皆さんに訴えられました。

万ーに備えて

「操作始め」の号令ときびきびとした動作が続きます。七月二十四日、十日町市で開かれた第十二回新潟県消防協会、中魚沼地区支会ポンプ操法競技会に中里村からは、予選で勝ち抜いた第三分団の高道山チームと、消防本部の自動車部が出場しました。成績は、自動車部が十日町市などを押え、こと優勝、小型ポンプの高道山チームは二位と健闘しました。消防団員は、夜訓練を実施し、万一の火災に備えてがんばっています。

青少年の非行防止は 家庭から



昭和五十七年中に県警察に捕縛された非行少年は、六千四百八十四人にのぼり前年を三百五十三人(五・八%)上回っています。その中でも特に中学生の捕縛数が二千六百七十九人となり前年に比べて五百九人(二・三・五%)と大幅に増加しています。また、総数に占める割合が四六・〇%となり、高校生の二九・八%を大きく上回り、非行の低年齢化傾向を示しています。

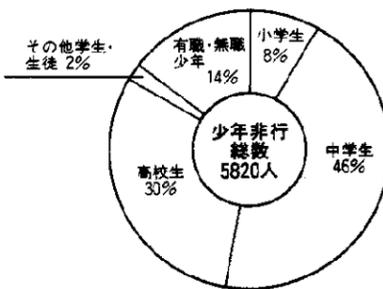


こういう本は困るねー

昨年、中里村では八人の少年が刑法犯で捕縛された。不良行為で七十人が捕縛されています。不良行為は、川西町、津南町、十日町市に比べて人口に占める割合が最も高くなっています。

青少年の非行と聞いてもピンとこない人が多いのではないでしょうか。しかし、私たちが都会のことと考えていたような非行がこの村でも起こっています。去年、十日町警察署管内で劇毒物(シンナー等)で捕縛された少年が五人もいます。青少年の非行は、家庭、学校、地域に責任があります。みんなで青少年の若いエネルギーを曲った方向にいかないように見守りましょう。

非行の主演は中学生(昭和57年)



なぜ非行に走るのか
非行の原因は複雑ですが家庭環境や親の養育態度に問題が多いと指摘されています。また、社会環境面では、真夜中でも買える酒、タバコの自動販売機、いかがわしい雑誌を売る自動販売機、ワイセツな映画の看板なども青少年を非行に走らせる一因となっています。この他にも学校教育などにも問題が多いと指摘されていますが、青少年を非行に走らせないためには、家庭、地域、学校が互いに、責任のなすりあいをするの



シンナー乱用から覚せい剤へ



ではなく、三者が一体となって、それぞれの役割と責任を果たすことが一番たいせつなことではないでしょうか。

まず家庭から

青少年を非行に走らせないためには、まず、健全な家庭を築くことです。家庭には忘れてはいけない大切な役割があります。一、家庭生活の中では、起居を共にしながら、家族がそれぞれ役割を分担しあうこと。二、心身の緊張や疲れをほぐせる安らぎの場であること。三、夫婦の愛をヨコ糸として、親子の愛をタテ糸として織なす「いのちのつながり」があること。この三本の柱を認識し健全な家庭を作り、子どもたちを非行に走らせないようにしましょう。そして悪書などの自動販売機の撤去に地域ぐるみで取り組みたいものです。



期待される商工会館建築模様

商業振興の基地に

中里村商工会が進めていた商工会館の建設が始まりました。この会館は、間近に迫った高速交通時代に対応し、商工業の振興を図る基地として作られるものです。商工会では、この会館を活用して経営者の意識の向上を図る他、後継者、婦人の研修の場として考えています。

同会館は、総合センターのそばに建てられ、鉄骨造り二階建(延二九・四・四五㎡)、総工費約六千万円をかけて今年十月月上旬に完成する予定です。

行事予定表

※変更することがあります。
・初用の際は担当課で確認を。

おもしろい行事などがありましたら
取材に行きます。連絡をください。

11(木)	婦人リーダー養成講座(手話サークル)④ 総合センター 19:30~ 高齢者講座(体験を語る) 総合センター 10:00~
12(金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00)
13(土)	
14(日)	休日救急医(津南病院 02576-5-3161)
15(月)	仮装大会(如来寺・夜) カラオケ大会(市之越・夜)
16(火)	カラオケ大会(倉突・夜)
17(水)	
18(木)	
19(金)	心配ごと相談日 (老人センター 13:00~16:00) 婦人リーダー養成講座(手話サークル)④ 総合センター 19:30~
20(土)	
21(日)	休日救急医(富田医院02575-2-3259) 親子ふれあい活動(にじまのつなみ みどり 倉保地区 10:00~)
22(月)	健康相談日 (保健センター 9:30~16:00)
23(火)	若い母親学級(幼児期の身体機能と 遊び) 総合センター 13:30~
24(水)	高齢者講座(津南町との交流会 総合センター 10:00~)
25(木)	
26(金)	心配ごと、行政相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00)
27(土)	干満まつり(27日、仮装、民謡流し、 28日、子どもみこし) 田中まつり(27日、芸能大会、 28日、民謡踊り)
28(日)	休日救急医(中条病院 02575-7-3018)
29(月)	山崎まつり(29日、花火大会、30日) 上山まつり(29日、30日、芸能大会)
30(火)	
31(水)	
1(木)	若い母親学級(幼児期の行動と環境 総合センター 13:30~)
2(金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00)
3(土)	
4(日)	休日救急医(上村病院 2111)
5(月)	移動交通事故相談所 (十日町市役所 10:00~15:00)
6(火)	婦人リーダー養成講座(女性の生き方を 考える)④ 総合センター 13:30~
7(水)	
8(木)	
9(金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00) 清津峡家庭教育講座(親と子のつながり を深めるためには) 清津峡(併) 13:30~
10(土)	

**ネズミ講は禁止
されています**

ネズミ講は、「無限連鎖講の防止に関する法律(昭和五十四年五月施行)」により禁止されています。しかし、最近、東北地方を中心に「幸福のランナー」と称するネズミ講が全国的にひろがりつつあります。新潟県でも、先日「幸せの輪の会」と称するネズミ講が発覚されています。ネズミ講に、十分注意してください。

水は生命の源

水が私たちの暮らしに、欠かせないといわねばならない。生命の源であることは言うまでもありません。水の使用量は、私たちの生活の向上とともに増えてきています。しかし、水資源は限りあるものです。ふだんの生活の中で、水をムダに使っている面が多くあります。みんなで節水に心がけ、二十一世紀に必要な水を確保しましょう。夏場は、一年中で最も水を多く使う季節です。いまだ一度水のたいせつさを見直しましょう。

住民参加の計画策定へ



婦人の意見も取り入れて

七月二十一日、二十五日、二十六日の三日間にわたって市内の五会場で開かれた広聴会に延二百人の人たちが参加しました。

これは、今年度総合開発計画策定にあたり、計画が役場職員にのみならず、住民の意見を取り入れるための計画にすべく、役場が配布した資料に基づいて集落内で話し合われたことを区長等が発表する形式を取りました。

発表の中では、若者の雇用の場の確保、道路整備、特産物の開発、観光開発、下水道処理、河川改修による河川敷の利用など貴重な意見が出されました。村では、これらの意見を更に煮つめながら実行性の伴った計画策定に努力していきます。

農業生活

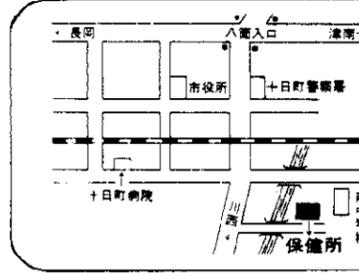


昭和二十一年五月に、鷹羽の開拓に上がったという上原千万夫さん。そのころ鷹羽付近は、ボヨボヨ切つたといひます。「ボヨボヨ切つてそりで引いたり、トウガヤクワで畑を起こしました。鷹羽地区で畑地造成を行うと聞きましたが、「おかげ様でほとんどの家に後継者が帰ってきました。若い人たちに農業を継いでもらうためには、畑の造成やほ場整備にも力を入れる必要があるんですよ。」と、話してくれました。

鷹羽 上原千万夫さん

**十日町保健所が
移転**

十日町保健所が、五月より左記の場所へ移転しました。お間違いないようになっています。



- 人生往来**
- *おめでた*
 - 千鶴(井ノ川正幸) 田中
 - 安成(服部 安英) 如来寺
 - 純子(村山 光行) 田沢
 - *結婚*
 - 清津 光平 田中
 - 町田 久子 十日町市
 - *おくりやみ*
 - 井ノ川昌平 82 如来寺
 - 吉楽 菅盤 77 山崎
 - 保坂 タカ 81 宮中
 - 川田 ノキ 57 荒屋

みんなのひろば

造林の苗木注文および補助申請のお知らせ

造林や育林の計画がありませんか。

村では、秋植え造林の苗木注文および補助申請を受け付けています。

★申込期日 九月三十日
★申込場所 役場開発課
詳しく知りたい方は、役場開発課または、十日町森林組合まで(☎〇二五七五―八―三二一五)



新婚生活は「ひとり暮らし」

山崎 平岡 勇光 さん

光雄さんの兄さんと勇光さんの義兄が友達だったことから二人は知り合い五月に結婚式を挙げました。第一印象は、「一目見た瞬間、この人が俺の嫁になる人だと感じた」と、光雄さん。「一見おとなしそうに見えましたが、話をしている内に、意志の強さを感じました」と、勇光さん。

新婚生活は「独身時代と

違って、家に帰るのが早くなったし、仕事にもはりあいができました」と、光雄さん。「結婚当初、勤め人の光雄さんと生活のリズムが違って(勇光さんの家は商店)少しとまどいました」と、勇光さん。お互いに無口なので、ケンカはまだ一度もやっていないとのこと。

子どもは、二人三人ほしいという二人は「山や川など思われた自然の中で、伸び伸びとした素直な子どもに育てたい」と、二世誕生を心待ちにしています。



溪谷の祭りにぎわう

みんなの参加で盛り上げよう

「ドーン バンバンバン」清津峡まつりが去る七月十六日、十七日の両日約五百人の人出でにぎわいました。十六日の前夜祭は、あいにくの小雨まじりの天候でしたが、着物を着た踊り子が各地から訪れ傘を片手に踊りまわりました。雨も花火大会の始まるころにはやみ、訪れた人たちは、溪谷に花開く美しい花火に見とれていました。

十七日は、朝六時からロニジマス釣大会で幕を開けニジマスのつかみどり大会、地酒大会、もちつき大会、深山市、盆栽市、歩け歩け大会が開かれました。この日もあいにく小雨混じりでしたがロニジマス釣りやつかみどりには多くの人が参加しました。

盆栽市に集まっていた人の中で、「リンドウやヒメシヤクナゲなどを種から栽培して訪れる客に販売して収益を上げる方法を考えなくては」という貴重な声も聞かれました。

通り山(老人ク)優勝

7月27日、宮中の村民グラウンドにお年よりの声が響きました。中里村老人クラブ連合会主催によるゲートボール大会が開かれ日ごろの練習の成果を競い合いました。成績 優勝 通り山(老ク) 2位寿会(倉保) 3位上山(老ク)



山はいいよ、いっしょに登りませんか

ほん寶

戦前は、お盆が来るとほん寶(よしで纏んだもの)を座敷に敷いてご先祖様を迎えました。夜になると「盆踊りに行こせの」と言って盆踊りをしたといひます。盆踊りの姿は、先祖様がのりうつったかっこうだといひます。

気分最高! 村民登山

7月23日、24日に開かれた清津山の会主催の苗場村民登山に16人が参加しました。美しい山々と、かれんに咲く高山植物に足をとめながらの山行は現実の世界を忘れさせてくれます。あなたも、ぜひ、山に登ってみませんか。



何事も日ごろの積み重ねから